

**近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託
優先交渉権者 選定公募型プロポーザル
審査要領**

1 審査の対象事業者

本プロポーザルの審査対象事業者は、参加資格要件を満たす参加意向申出者（以下、「参加者」という。）のうち、本市へ技術提案書類及び電磁記録媒体（以下、「技術提案書類等」という。）を提出した参加者に限る。

2 審査の実施

- (1) 審査結果の通知は、技術提案書類の提出のあったすべての参加者に通知する。
- (2) 本プロポーザルの審査は、参加者から「技術提案書類等」の提出を求めたのち、本審査要領に基づいた審査方式で実施する。
- (3) 審査については、近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託優先交渉権者選定公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）において行う。
なお、審査委員会は、学識経験者等3名、本市職員のうちから4名の合計7名で構成するものとするが、委員の氏名等は、審査が終了するまで公表しない。
- (4) 参加者には令和4年3月9日（水）に第1次審査として、提出された「参加申込書類」及び「技術提案書類等」について書類審査を行う。その上で、参加者が6者以上いる場合には、第2次審査対象者（上位5者）を選定する。なお、参加者が5者以下の場合は、全ての参加者を第2次審査対象者とする。
- (5) 第1次審査で選定された参加者（以下、「第2次審査対象者」）に対して、令和4年3月23日（水）に、提出された「技術提案書類等」に基づいてヒアリング審査を行う。（詳細な日程や会場等については、第2次審査対象者へ電子メールで連絡する。）
 - ①第2次審査対象者からの説明（30分程度）、及び質問（30分程度）を行うものとする。
 - ②出席者はパソコン等操作者を含め合計5名以内とする。なお、ヒアリング出席者の氏名を記載した一覧（任意様式）を、ヒアリング実施日前日の午後3時00分までに事務局に提出すること。
 - ③技術提案書類等に係るプレゼンテーション及び質疑に対する応答は、配置予定の管理技術者が行うこと。
 - ④ヒアリング時の説明に際しては、提出した技術提案書類等を使用することとし、プロジェクターを使用した資料の説明も可とする。ただし、提出した技術提案書類等以外の資料を使用した場合は、本プロポーザルへの参加資格を満たさなかったものとみなし失格とする。また、ヒアリング時に追加資料があった場合も同等とする。
 - ⑤資料を説明する際に用いるパソコン及びプロジェクターは参加者各自が用意すること。スクリーンは担当部署が準備したものを使用すること。
・スクリーン（画面寸法【1.62m × 1.21m】）
 - ⑥審査時に企業名等が特定できるような衣類やバッジ等は身につけないこと。
 - ⑦その他、ヒアリングに係る留意事項については、第1次審査結果の通知書と合わせて通知する。

3 審査方法

審査委員会において、各委員が参加者ごとに審査項目に対し評価点を付与する。

第1次審査と第2次審査における得点を合計した総合得点の最も高い審査対象者を「優先交渉権者候補」、その次に総合得点の高い審査対象者を「次点優先交渉権者候補」として特定する。

なお、各審査における得点、または総合得点と同点の場合は、別に定める「近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託優先交渉権者選定公募型プロポーザル評価項目、評価基準及び配点」に従って、選定を行う。）

4 審査基準

四日市市が設置した「近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託優先交渉権者選定公募型プロポーザル審査委員会」が別に定める「近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託優先交渉権者選定公募型プロポーザル評価項目、評価基準及び配点」に従って、厳正な審査を行う。

**近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託
優先交渉権者選定公募型プロポーザル
評価項目、評価基準及び配点**

（第1次審査）

評価項目			評価基準	配点		様式
大項目	中項目	小項目		評価点	合計 （配点率）	
参加申込書類 についての評価	事業者要件	業務実績	同種・類似業務実績の内容・規模、件数等を評価する	30	60 【26.1%】	様式2-1-1 様式2-1-2 様式2-1-3
		業務実績	デザイン関連の受賞歴を評価する	10		様式2-3
	配置技術者の 経験及び能力	管理技術者	実績業務の内容・規模、件数等を評価する	20		様式2-2-1
技術提案書類 についての評価	業務内容に係る 技術提案 （実施方法）		技術検証ポイントと実施設計へのフィードバック方法	15	170 【73.9%】	様式5-2
			仮設計画・維持管理などの実施設計へのフィードバック方法	15		
			業務概略スケジュールと具体的な業務内容・想定される課題と 解決策の提示	15		
			その他、技術協力業務を効率的に進めるための具体的な提案	15		
	業務内容に係る 技術提案 （実施体制）		技術協力業務の体制	20		様式3 様式5-3-1
			施工管理段階の体制	20		様式5-3-2
	四日市市内の 建設事業者の 活用方法	四日市市内の建設事業者への下請けの発注などの積極的活用の 具体策	10	様式5-3-3		
特定テーマ	特定テーマについて評価する。 （敷地状況、既往計画の理解等について重視し評価を行う。）	60	様式5-4-1 様式5-4-2 様式5-4-3			
合 計				230	230 【100%】	

（注）・評価結果の得点については、小項目ごとにおける各審査委員の平均点とし、小数点第1位を四捨五入する。
 ・なお、各審査における評価結果の合計得点が同点の場合や、第1次審査と第2次審査の総合得点が同点の場合は、以下の順序により、その項目の点数が高い事業者を選定する。
 【技術提案書類についての評価】⇒【ヒアリングによる評価の特定テーマ①、②、③の合計】
 ⇒【取り組み姿勢、専門性・コミュニケーションの合計】⇒【技術者数、業務実績の合計】

**近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事に関する技術協力業務委託
優先交渉権者選定公募型プロポーザル
評価項目、評価基準及び配点**

(第2次審査)

評価項目			評価基準	配点		様式
大項目	中項目	小項目		評価点	合計 (配点率)	
ヒアリングによる評価	技術力要件	特定テーマ i	提案の的確性(課題抽出)について評価する	10	40 【23.5%】	様式5-4-1
			提案の的確性(課題解決方法)について評価する	10		
			提案の特殊技術、新技術について評価する	10		
			提案の実現性について評価する	10		
		特定テーマ ii	提案の的確性(課題抽出)について評価する	10	40 【23.5%】	様式5-4-2
			提案の的確性(課題解決方法)について評価する ※特に鉄道近接への課題解決方法が具体的に記載されているか について評価する。	10		
			提案の特殊技術、新技術について評価する	10		
			提案の実現性について評価する	10		
		特定テーマ iii	提案の的確性(課題抽出)について評価する	10	40 【23.5%】	様式5-4-3
			提案の的確性(課題解決方法)について評価する	10		
			提案の特殊技術、新技術について評価する	10		
			提案の実現性について評価する	10		
		取り組み姿勢	技術提案に対する補足説明の的確性および取り組み意欲について評価する	20	50 【30%】	-
		専門性 コミュニケーション	質問を通じた専門知識及び応答における明確性、 コミュニケーション能力を評価する	30		
合 計				170	170 【100%】	

(注)・評価結果の得点については、小項目ごとにおける各審査委員の平均点とし、小数点第1位を四捨五入する。
 ・なお、各審査における評価結果の合計得点が同点の場合や、第1次審査と第2次審査の総合得点が同点の場合は、以下の順序により、その項目の点数が高い事業者を選定する。
 【技術提案書類についての評価】⇒【ヒアリングによる評価の特定テーマ①、②、③の合計】
 ⇒【取り組み姿勢、専門性・コミュニケーションの合計】⇒【技術者数、業務実績の合計】

**近鉄四日市駅周辺(四日市中央線)整備工事に関する技術協力業務委託
優先交渉権者選定公募型プロポーザル
配点割合表**

評価資料		第1次審査	第2次審査	合計 配点割合	大項目 配点割合	
実績	様式2-1-1・様式2-1-2・様式2-1-3(企業実績)		30	60 15.0%	170 42.5%	
	様式2-3(受賞歴)		10			
	様式2-2-1(管理技術者実績)		20			
方針 体制	様式5-2(業務実施方法)		60	60 15.0%		
	様式3・様式5-3-1(技術協力業務の実施体制)		20	50 12.5%		
	様式5-3-2(施工管理段階の実施体制)		20			
	様式5-3-3(四日市市内の建設事業者の活用方法)		10			
特定テーマ	様式5-4-1(特定テーマ:現状の把握) 様式5-4-2(特定テーマ:現状の把握) 様式5-4-3(特定テーマ:現状の把握)		60	60 15.0%		
	様式5-4-1(特定テーマ i)	特定テーマ i) ①課題抽出		10	40 10.0%	
		②課題解決方法		10		
		③特殊技術、新技術		10		
		④実現性		10		
	様式5-4-2(特定テーマ ii)	特定テーマ ii) ①課題抽出		10	40 10.0%	
②課題解決方法			10			
③特殊技術、新技術			10			
④実現性			10			
様式5-4-3(特定テーマ iii)	特定テーマ iii) ①課題抽出		10	40 10.0%		
	②課題解決方法		10			
	③特殊技術、新技術		10			
	④実現性		10			
プレゼンテーション	プレゼンテーション(取り組み姿勢)		20	50 12.5%	50 12.5%	
	プレゼンテーション(専門性・コミュニケーション)		30			
合計			230 57.5%	170 42.5%	400 100.0%	400 100.0%